

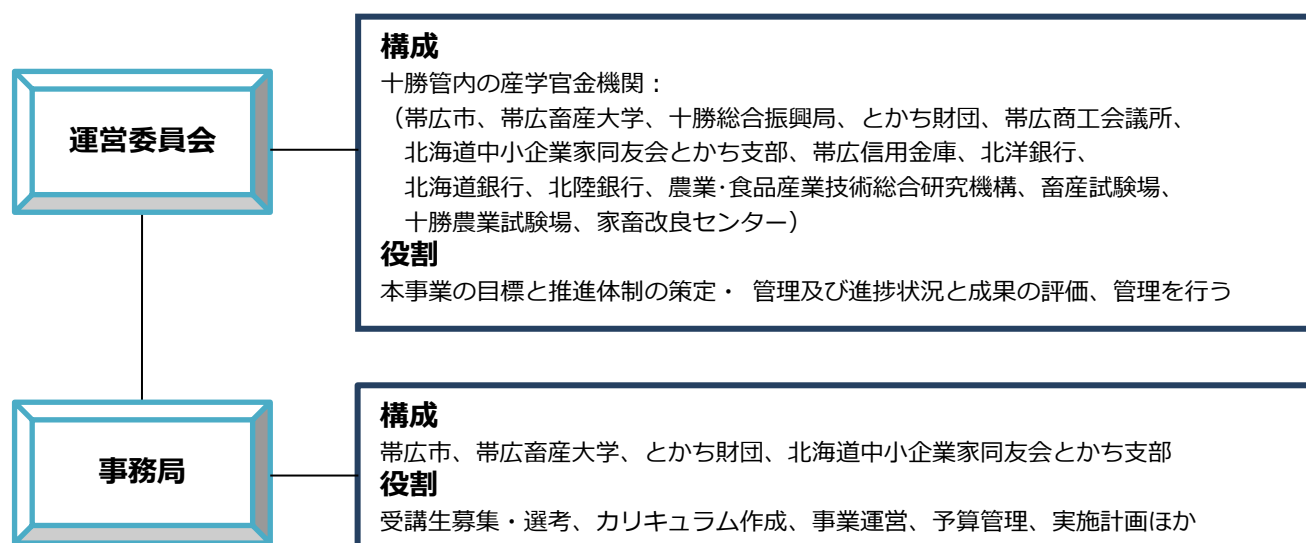
令和6年度フードバレーとかち人材育成事業 事業報告書（概要版）

1. 事業経緯

本事業は、平成19年度～23年度に実施した「地域再生人材創出拠点の形成『十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成』」の実績を引き継ぎ、平成24年度より、帯広市・帯広畜産大学の共同事業として実施している。その目的は、チャレンジ精神等を持って、企業経営、異業種参入、起業化等の地域の経済発展に寄与する「リーダーシップ」を発揮する人材を育成することであり、十勝管内の産学官金の各機関によって組織された運営委員会が事業を運営している。

令和6年度は、食品安全管理コース、農業生産者コースの2つのコースと特別講習を実施した。一部の講習会は、帯広畜産大学の社会人人材育成事業である「農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム」の併用科目として実施した。

① 事業運営体制



② 研修コースの概要

コース	概要
マネジメントコース	企業・自治体の持続可能な戦略立案・組織運営に必要な入門知識・実践方法の習得を目的として、入門編「持続可能な経営の基礎を学ぶ」を実施予定であったが、応募が無かったため、実施を中止した。
食品安全管理コース	食品衛生管理に関する知識及び実技を習得することを目的として、「食品有害微生物講習（初級）」を実施
農業生産者コース	農業者、支援団体、農業関連企業のニーズに合わせて開講 GAP（農業生産の工程管理）に関するセミナーを実施
特別講習	食・農畜産業に関する最新の話題や技術を紹介するとともに、本事業における取り組みや成果等を周知することを目的として、広く一般市民を対象としたセミナー・実習等を実施 今年度は昨年度の3件に対して、マーケティングやDX、労働安全等テーマを拡充し、12件の講習会を実施
修了生フォローアップ	今までにプログラムを修了した修了生で、希望者に対して事業化や課題解決の支援を実施

2. 事業実績

コース・講習名	実施期間	実施時間	受講料	募集定員	受講者数	内社会人 内学生	修了者数	内社会人 内学生
マネジメントコース								
持続可能な経営の基礎を学ぶ	R6.6.13～ R6.8.8	1.5 時間×9 講	20,000 円	10 名	応募が無かったため中止			
食品安全管理コース								
食品有害微生物講習（初級）	R7.1.29～ R7.1.31	7 時間×3 日	20,000 円	10 名	7 名	7 名 －	7 名	7 名 －
農業生産者コース								
GAP セミナー 第 1 回 「GAP 概論」	R7.1.20	3 時間	無料	30 名	16 名 (7 名)*	16 名 －	－	－
GAP セミナー 第 2 回 「総合的病害虫管理(IPM)」	R7.1.24	4.5 時間	5,000 円	30 名	5 名	5 名 －	4 名	4 名 －
GAP セミナー 第 3 回 「HACCP 構築手法」	R7.1.25～ R7.1.26	7.5 時間×2 日	20,000 円	10 名	7 名 (5 名)*	7 名 －	7 名 (5 名)*	7 名 －
特別講習								
持続可能な経営の基礎を学ぶ プレセミナー 対面	R6.5.9	1 時間	無料	15 名	応募が少なかったため中止			
持続可能な経営の基礎を学ぶ プレセミナー オンライン	R6.5.16	1 時間	無料	20 名	4 名	3 名 1 名	－	
マーケティング	R6.9.30～ R6.10.7	3 時間×2 講	無料	30 名	28 名	28 名 －	－	
企業戦略	R6.10.16～ R6.10.23	3 時間×2 講	無料	30 名	29 名 (12 名)*	29 名 －	－	
ドローンと AI による放牧地の 管理	R6.11.5	1.5 時間	無料	30 名	20 名	20 名 －	－	
「循環型農畜産業」メタン発生の 抑制・未利用資源の利用	R6.11.13	1.5 時間	無料	30 名	13 名	13 名 －	－	
十勝で生きるロボット農機の 使い方とその開発現場	R6.11.22	1.5 時間	無料	30 名	10 名	10 名 －	－	
北海道内の事故事例から見た「本 当に効果がある」農作業安全対策	R6.11.20	1.5 時間	無料	30 名	16 名	16 名 －	－	
北海道物流の現状と課題に ついて	R6.12.4	2 時間	無料	30 名	21 名	18 名 3 名	－	
小麦のフードチェーン	R7.1.7	1.5 時間	無料	30 名	17 名	15 名 2 名	－	
外国人技能実習生受入れの現状 と課題	R7.1.23	1.5 時間	無料	30 名	11 名	10 名 1 名	－	
ビジネスシーンでの RESAS の 活用	R7.2.7	2 時間	無料	50 名	16 名 (7 名)*	16 名 －	－	
AI と DX セミナー	R7.2.17	3 時間	無料	40 名	16 名 (8 名)*	15 名 1 名	－	
合 計					236 名	228 名 8 名	18 名 (5 名)*	18 名 －

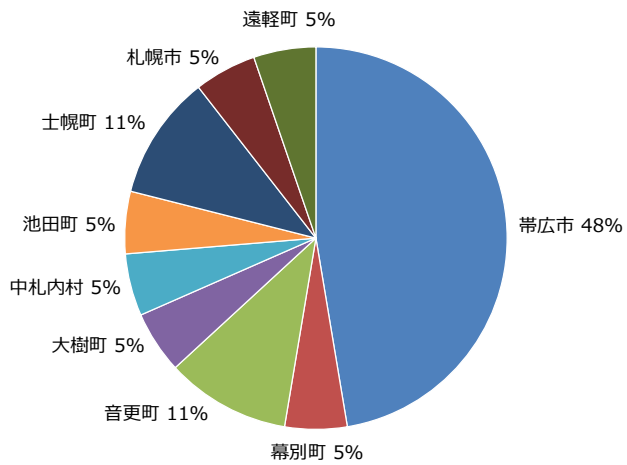
* () 内の人数は農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラムからの受講者数

修了生フォローアップ		
平成 29 年度修了生	個別対応	1 件相談を受け、とかち財団対応済み

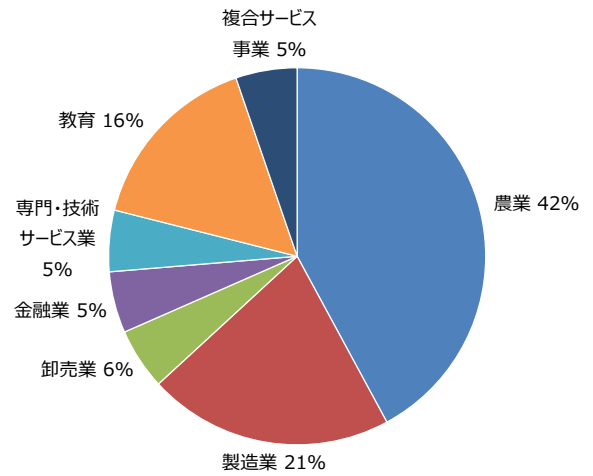
3. 有料講習の分析

・受講参加企業・団体：14

参加企業・団体の住所

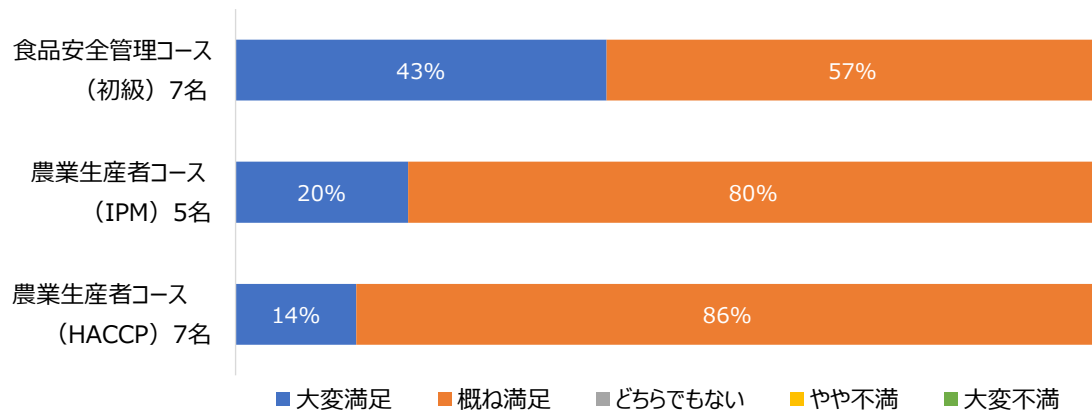


参加企業・団体の業種



* 延べ人数で算出

・受講満足度（回答者数：コース名に併記）



資料 1. 修了生の活動状況（新聞記事より抜粋）

＜事例 1＞前田農産食品合資会社 前田 茂雄氏（平成 28 年度修了生）

・オーストラリア・ニューサウスウェールズ州を中心とした大規模農家で作る観光ツアーにて、参加した穀物農家ら 35 名にポップコーン開発や 6 次化について語り、小麦畑やポップコーン畑などの視察を実施した。

十勝毎日新聞 令和 6 年 4 月 18 日掲載

・米アマゾン・コムの電子商取引サイトを通じたポップコーンの米国輸出を開始した。ニーズ調査を行ったうえでの商品開発も検討しており、現地スーパーマーケットとの販売交渉も進めている。

十勝毎日新聞 令和 6 年 10 月 29 日掲載

・札幌市すすきのの複合商業施設内 TOHO シネマズ直営映画館で、昨秋の開業当初から 3 か月程度の限定販売を予定していた「北海道十勝ポップコーン」の販売が、高い人気を受けて継続販売に切り替えた。今後は道外劇場での提供も検討している。

十勝毎日新聞 令和 6 年 11 月 11 日掲載

＜事例 2＞十勝野フロマージュ 赤部 順哉氏（平成 25 年度修了生）

・日本酒「十勝晴れ」の酒かすから開発され、昨年商品化された国内初の国産チーズスターターの試験期間を終え、白カビ・ソフトタイプのカマンベールチーズの販売を始めた。

十勝毎日新聞 令和 6 年 5 月 4 日掲載

・日本チーズアートフロマジェ協会が 6 月 2 日に開いた国内のチーズコンクールで初めての国際基準の鑑評を導入した品評会「第 1 回アルティザンチーズアワード」で、クリームチーズなどで金、銀、銅の各賞を 1 点ずつ受賞した。

十勝毎日新聞 令和 6 年 6 月 17 日掲載

＜事例 3＞nakaichi asia business 中村 真也氏（平成 29 年度修了生）

・「山のおばあちゃんちプロジェクト」にて音更町にオープンしたキャンプ場の設計を担当した。畑の一角にある約 5000 平方メートルの敷地に、最大 20 区画のキャンプサイトを設け、収穫体験を楽しむ野菜畑やサウナハウスの設置も予定している。

十勝毎日新聞 令和 6 年 5 月 6 日掲載

＜事例 4＞北広牧場 若杉 真吾氏（令和 3 年度卒業生）

・中身が見えるドリンクパックに入ったストローで飲む新しい形のソフトクリーム、新商品「のむソフトクリーム」の販売を始めた。「果肉たっぷりいちご&クランチ」「チョコ&クランチ」「果肉たっぷりオレンジ&自家製ヨーグルト」の 3 種類。

十勝毎日新聞 令和 6 年 5 月 10 日掲載

・旧狩勝牧場再生に向け、目標額 300 万を掲げ CF に取り組んだ。環境再生型の農業に取り組み、将来的にはファームツアーの開催や BBQ 等を楽しめる施設および宿泊施設の設置などを計画している。

十勝毎日新聞 令和 6 年 10 月 31 日掲載

＜事例 5＞株式会社花 清野 真理氏（平成 27 年度修了生）

・食を通じた中心市街地活性化を目指し、所有の駐車場にて 12 日、キッチンカーが集まるイベント「おいしいものが大好きだ！」を企画・開催した。

十勝毎日新聞 令和 6 年 6 月 13 日掲載

＜事例 6＞元浦幌町地域おこし協力隊 株式会社 ciokay 森 健太氏（平成 29 年度修了生）

・浦幌町内の小学生を対象にハマナスの収穫体験を実施。収穫や小型の蒸留器で花びらを蒸留し、化粧水のもととなるローズウォーターを抽出する工程を指導した。

十勝毎日新聞 令和 6 年 6 月 26 日掲載

＜事例 7＞古道具屋うさぎ 儀間 芙沙子氏（令和元年度修了生）

・熊本を拠点に活動するサーカス団「ピエロック旅一座」の公演を、古道具屋うさぎ前で企画した。

十勝毎日新聞 令和 6 年 7 月 23 日掲載

・古着や古本、雑貨やハンドメイド作品が並ぶ初のフリーマーケットを企画し、2 月 2 日に足寄町民センターにて開催された。

十勝毎日新聞 令和 6 年 11 月 24 日掲載

＜事例 8＞株式会社エイムカンパニー 佐藤 慎吾氏（平成 27 年度修了生）

・帯広名物「豚丼」をパンで挟んだ「帯広豚丼サンド」を開発し、「たんじろう」にて提供やデリバリーを開始した。

十勝毎日新聞 令和 6 年 7 月 24 日掲載

＜事例 9＞鈴木牧場 鈴木 なつき氏（令和 4 年度修了生）

・乳牛の搾乳と牛乳の製造に関し、食品安全マネジメントシステムの国際規格「ISO22000」を取得した。

十勝毎日新聞 令和 6 年 9 月 21 日掲載

＜事例 10＞有限会社中田食品 貴戸 武利氏（平成 25 年度修了生）

・池田町シニアカレッジ「遊ゆう大学」の授業にて、「豆腐に学ぶ“食”のこと」と題し、豆腐の製造工程や栄養素について講義を行った。

十勝毎日新聞 令和 6 年 10 月 9 日掲載

＜事例 11＞株式会社丸勝 牛腸 健司氏（平成 3 0 年度修了生）

・「十勝ロイヤルマンガリツツア豚」がシンガポールの中華料理レストランの食材として採用され、初の海外への供給となった。

十勝毎日新聞 令和 6 年 1 2 月 1 9 日掲載

資料 2. 会議開催状況

運営委員会

第 1 回 令和 7 年 3 月 2 8 日（金）（書面開催）

1. 議事

第 1 号議案 令和 6 年度事業費の精算について

第 2 号議案 令和 6 年度事業報告（案）について

第 3 号議案 令和 7 年度共同事業計画書（案）について

事務局会議

第 1 回 令和 6 年 4 月 1 8 日（木）

議題：1. 令和 5 年度事業報告書について

2. 令和 6 年度年間予定について

3. 特別講習「マネジメントコース（入門編）持続可能な経営の基礎を学ぶプレセミナー」の実施について

4. マネジメントコース（入門編）「持続可能な経営の基礎を学ぶ」の実施について

第 2 回 令和 5 年 8 月 1 日（木）

議題：1. 特別講習「マーケティングと企業戦略」の実施について

2. 農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラムとフードバレーとかち人材育成事業の一部科目の併用について

第 3 回 令和 6 年 9 月 5 日（木）（持ち回り会議）

議題：1. 特別講習「農業関連セミナー」の実施について

第 4 回 令和 6 年 1 0 月 1 日（火）（持ち回り会議）

議題：1. 特別講習「農業関連セミナー第 2 弾」の実施について

第 5 回 令和 6 年 1 1 月 2 0 日（水）

議題：1. 特別講習「農業関連セミナー第 3 弾」の実施について

2. 農業生産者コース「GAP セミナー」の実施について

3. 食品安全管理コース「食品有害微生物講習（初級）」の実施について

4. 令和 7 年度事業実施案について

第 6 回 令和 6 年 1 2 月 1 6 日（月）（持ち回り会議）

議題：1. 特別講習「ビジネスシーンでの RESAS の活用」の実施について

2. 特別講習「AI と DX セミナー」の実施について

第7回 令和7年3月21日（金）

- 議題：1. 令和6年度事業報告書（概要版）について
2. 令和7年度共同事業計画書について